

(4) 長時間保育・延長保育

保護者は、いろいろな職業について働いています。勤務形態の多様化の中で、11 時間を超える延長保育も行われるようになってきました。

長い時間保育所で生活する子どもの情緒が安定し、安心して過ごせるよう、保育者はゆったりと落ち着いた雰囲気をつくり、一人ひとりの子どもを温かく受けとめ安心できる居場所をつくるのが大切です。また家庭での子どもの様子についての的確に把握するよう努め、保育所での保育に反映させるなど、保護者と保育所が協力して保育することが大切です。

人権保育の視点

- ・ 一人ひとりの子どもの生活リズムや心身の状態を把握し、情緒が安定するように努める。
- ・ クラス担任は、早朝、夕刻、延長保育担当職員と連絡を十分にとり、子どもの状態について情報を共有する。
- ・ 子どもの保育所での生活を日々保護者に伝え、保護者からも家庭での子どもの様子を聞くなど、連携を密にする。

具体的な対応

- ・ 子どもの好きな玩具や絵本、いろいろな保育材料を用意し、子どもがくつろいで楽しく自由に遊べる環境を整える。
- ・ 夕刻は疲れが出やすい時間帯なので、子どもの健康状態を細やかに把握し、必要に応じて適切に対応する。
- ・ 早朝、夕刻、延長保育担当職員は、保護者や担任からの伝言や報告をきちんと伝え、連絡漏れのないようにする。
- ・ 「おたより帳」「今日の保育」「園だより」「クラスだより」「掲示板」などを活用して、保護者との連絡をこまめに行う。
- ・ 送迎のときに子どもの様子を伝えあったり、育児相談に応じたりするなどして、保護者との信頼関係が保てるようにする。

保育の事例

子どもの状況を把握し、保育者間で確実に伝えるために、用紙に記入しましょう。

延長保育の引き継ぎ表の例

月 日 () クラス名 ()				
名 前	お迎え時間	確認 17:45	確認 18:31	連絡事項等
A	19:00 延長	○	○	
B				
C	通常のお迎え時間を記入する。 延長保育申請児は「延長」と記入する。	勤務交代時に確認する。	延長保育になるので確認する。	
D				父迎え 19:15
E				
F				お迎え時間の変更や連絡事項があれば記入する。
G				
H				

早朝・夕刻保育の引き継ぎ表の例

月 日		
クラス名	子どもの名前	連絡事項
○○	A	便がゆるかった等 勤務者が担任から伝えられたことを記入する。
	B C	
	D	

早朝の保育

おはようございます
今日は元気ですか？

わかりました
いってらっしゃい
担任に伝えておきます



今日は〇〇まで
出張です
連絡は まで
お願いします

夕刻の保育



乳児は長い時間同じ部屋で過ごすことが多いので、気分転換をはかります。

天気の良い日は園庭で遊びます。

室内では好きなおもちゃで遊びます。



危険のないよう周りに目を向けるとともに、一人ひとりが楽しく過ごせるようにしていきます。





暑い夏、入室後のお茶タイムは水分補給を兼ねて、ほっとする時間です。

お茶や白湯は季節を問わず、水分補給のため、園児が降園するまで準備しておきましょう。



夕刻は子どもが疲れてくることを考慮して、くつろいで過ごせるようにします。

延長保育

お腹がすく頃なので、友だちと一緒におやつを食べます。



お迎えが来るまで、絵本を読んでもらったりして、ゆったり過ごします。

